

No.	時期	テーマ	出典等
01	一月	凧あげ	〔明〕陳沂『詢鶴録』 〔戦国〕韓非『韓非子』外儲説 〔唐〕段成式『酉陽雜俎』に引く『朝野僉載』
02	二・三月	節分	〔周〕周公旦『周礼』夏官 〔漢〕東方朔『神異経』 〔宋〕王安石『臨川集』元旦 〔梁〕吳均『続齊諧記』曲水宴 〔平安〕清少納言『枕草子』過ぎしかたに恋しきもの 〔晋〕陳寿『三国志』孫皓伝注 〔晋〕張華『博物志』 〔南北朝〕劉義慶『世説新語』 〔江戸〕解良栄重『良寛禪師奇話』
03	三月	筍	〔南北朝〕劉義慶『世説新語』 〔江戸〕解良栄重『良寛禪師奇話』
04	四月	柳	星野源「季節」 〔唐〕王維「送元二使安西」 〔唐〕杜牧「独柳」
05	五月	端午の節句	〔漢〕司馬遷『史記』孟嘗君列伝第十五 〔南朝宋〕范曄『後漢書』登竜門 〔梁〕吳均『続齊諧記』屈原
06	六月	てるてる坊主	〔清〕趙翼『陔余叢考』 〔金〕李俊民『莊靖集』掃帚婦 作詞・権藤はなよ「たなばたさま」 〔漢〕無名氏「古詩」
07	七月	七夕	〔梁〕宗懔『荆楚歲時記』牽牛織女 〔梁〕宗懔『荆楚歲時記』乞巧奠 〔後漢〕応劭『風俗通義』 〔江戸後期〕松平定信『幕朝年中行事歌合中』 〔江戸後期〕喜多村信節『嬉遊笑覧』
08	八月	扇① 扇②	〔後漢〕王充『論衡』逢遇 〔漢〕班婕妤「怨詩」序 〔平安〕菅原孝標女『更級日記』和泉 〔平安〕清少納言『枕草子』 〔江戸〕横井也有『朝衣』奈良団贊 『論語』子罕第九 『鎌倉』『徒然草』百二十二段 〔後周〕王仁裕『開元天寶遺事』占風鐸 〔清〕王士禛「雨後至天寧寺」 〔漢〕劉向『戦国策』魏卷七 〔北宋〕蘇舜欽「暑中閑詠」
09	九月	重陽登高	〔梁〕吳均『続齊諧記』九 〔唐〕王維「九月九日憶山東兄弟」 〔前漢〕『淮南子』覽冥訓 〔唐〕段成式『酉陽雜俎』卷一天咫 〔唐〕杜甫「月」 〔平安〕『今昔物語集』卷五「三獸行菩薩道、兎焼身語第十三」 〔宋〕蘇軾「中秋月」
10	十月	中秋節	

11	十一月	紅葉	〔唐〕白居易「醉中对紅葉」 〔唐〕杜牧「山行」 〔戦国〕荀子「荀子」 〔明〕丘瓊山「古事成語考」撤蟹 〔平安〕景戒『日本書異記』蟹と蝦との命を贖ひて放生し、現報に蟹に助けられり緑
12	十二月	河豚	〔南宋〕孫奕『示兒編』卷十七 〔北宋〕蘇軾『蘇東坡全集』惠崇春江曉景 〔江戸〕柏木如亭『詩本草』・『木工集』 〔江戸〕十返舎一九『落咄臍くり金』ふぐ汁 〔江戸〕俳諧 松尾芭蕉・小林一茶
90	その他	疫病 地震	〔後漢〕『論衡』訂鬼 〔江戸〕故応斎玉花『軽口福徳利』 〔南朝宋〕范曄『後漢書』張衡伝
91	その他	疫病②	〔宋〕沈括『夢溪筆談』補筆談卷三 鍾馗 〔鎌倉〕吉田兼好『徒然草』第五〇段
92	その他	漢字 書道	『易経』繫辞伝下 〔唐〕李瀚『蒙求』 〔宋〕葉夢得『避暑錄話』 〔宋〕劉義慶『世說新語』企羨第十六 〔唐〕玄奘『晋書』王羲之伝
93	その他	文房四宝筆	〔唐〕李瀚『蒙求』蒙恬製筆 〔唐〕韓愈「毛穎伝（抜粋）」『唐宋八大家文読本』 〔宋〕蘇軾『蘇東坡詩集』卷十六 〔宋〕唐子西「古硯銘」『古文真宝後集』卷五 〔南朝宋〕范曄『後漢書』宦者列伝 〔元〕費著『蜀賡譜』
94	その他	茶	〔明〕謝肇淛『五雜俎』卷十一 物部三 〔唐〕柳宗元『柳河東集』卷四十三「夏昼偶作」 〔唐〕陸羽『茶経』七之事「茶姥」 〔唐〕張又新『煎茶水記』煮茶記 〔宋〕王安石『臨川集』「寄茶与平甫」 〔明〕田藝衡『煮泉小品』 〔鎌倉〕『吾妻鏡』建保二年二月 〔江戸〕久須美球安『茶話指月集』 〔江戸〕安楽庵策伝『醒睡笑』
95	その他	白眼視	〔唐〕李瀚『蒙求』阮籍青眼 〔鎌倉〕『徒然草』第一七〇段 〔梁〕任昉『述異記』上
96	その他	徐福	〔平安〕『古今和歌集』卷18 雑歌下 〔漢〕司馬遷『史記』秦始皇本紀 歌手・鳥羽一郎 作詞・星野哲郎「徐福夢男く虹のかけ橋く」